

OS と Starter Pack の対応(Express5800/R110m-1 向け)

※注) 本書の適用範囲は以下のモデル名の製品です。
他モデル名の製品は適用対象外です。

○ R110m-1 ✕ 他のモデル

対象モデル名	対象型番
R110m-1	N8100-3004Y/-3005Y

1. OS と Starter Pack について

Express5800/R110m-1 (以下「サーバー」)に適用される Starter Pack は、ご注文時の最新バージョンで出荷されます。

またサーバーのさらなる安定稼働のため、Starter Pack は更新版がリリースされます。

ご使用の OS により使用可能な Starter Pack のバージョンが異なるため、安定稼働のために本書および関連資料に記載する手順を参照して**使用する OS に対応した最新の Starter Pack の適用を推奨します。**

お客様の目的に応じて、以下を参照してください。

- Windows Server をインストールする場合は「[2. Windows Server インストール手順](#)」
- Red Hat Enterprise Linux (以降は RHEL と表記)をインストールする場合は「[3. RHEL インストール手順](#)」
- 既存システムに対して Starter Pack またはファームウェアの更新を行う場合は「[4. Starter Pack 更新手順](#)」
- サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認する場合は「[8. Starter Pack のバージョン確認方法](#)」
- Starter Pack に収録されているコンポーネントについてバージョンを確認する場合は「[9. Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」
- Starter Pack、EXPRESSBUILDER およびコンポーネントの入手先は「[10. ソフトウェアの入手先](#)」

目次

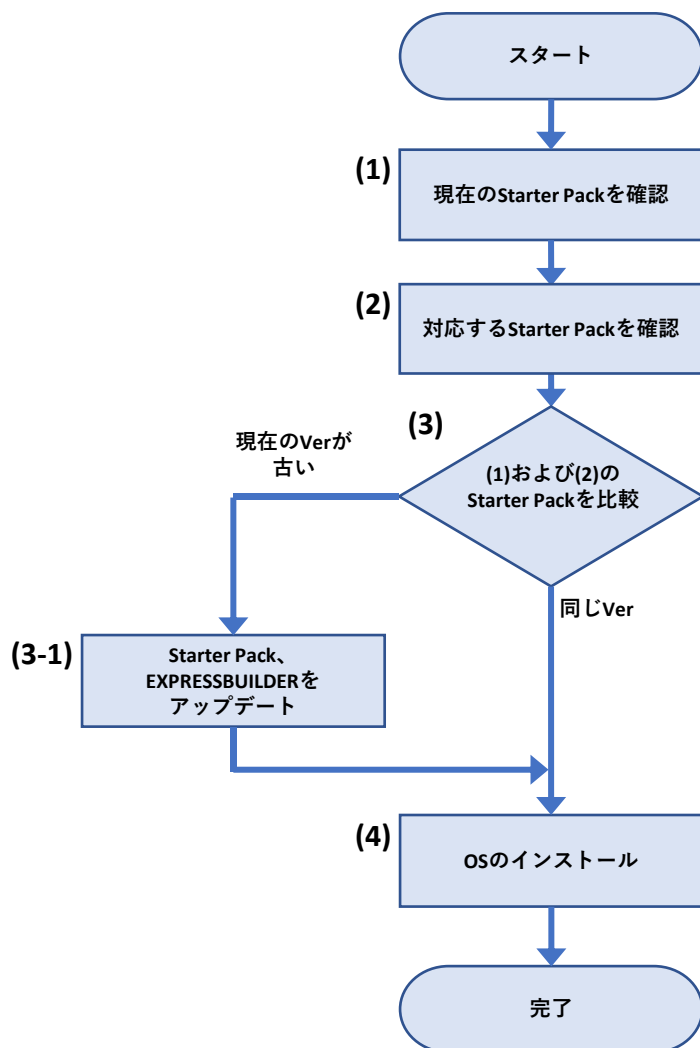
OS と Starter Pack の対応(Express5800/R110m-1 向け).....	1
1. OS と Starter Pack について	1
2. Windows Server インストール手順	3
3. RHEL インストール手順.....	4
4. Starter Pack 更新手順.....	5
5. OS と説明書の対応表	6
6. サーバーと Starter Pack の対応表	6
7. OS と Starter Pack の対応表	7
8. Starter Pack のバージョン確認方法	8
サーバーに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法	8
EXPRESSBUILDER の確認方法	8
iLO6 ファームウェアバージョンの確認方法.....	8
9. Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧	10
10. ソフトウェアの入手先	12
変更履歴.....	13

2. Windows Server インストール手順

Windows Server の新規インストールを行う場合、下記フローチャートの手順を参照してください。

注意事項:

- 使用する OS に対応した最新の Starter Pack の適用を推奨します。
- 事前に本ドキュメントおよび Starter Pack の最新版が発行されていないか確認してください。



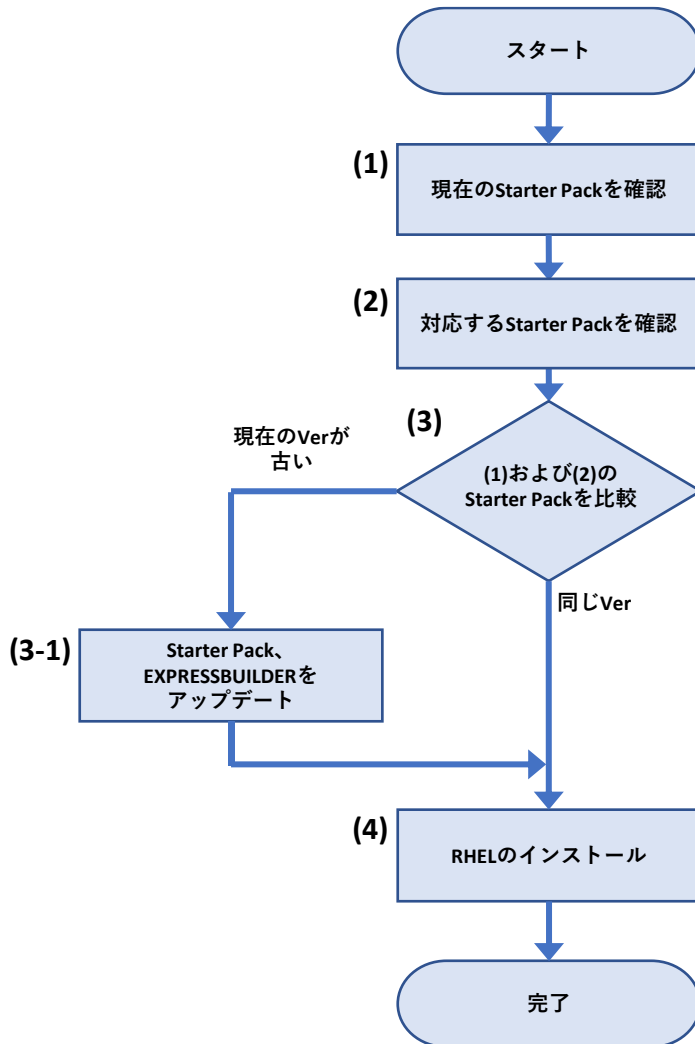
- (1) 「[Starter Pack のバージョン確認方法](#)」を参照し、サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認します。
- (2) 「[OS と Starter Pack の対応表](#)」を参照し、インストールする OS をサポートする Starter Pack のバージョンを確認します。
「[サーバーと Starter Pack の対応表](#)」を参照し、サーバーがサポートする Starter Pack のバージョンを確認します。
- (3) (1)および(2)の結果から、サーバーに適用されている Starter Pack がインストールする OS に対応することを確認します。
「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、注意事項を確認します。
Starter Pack の更新が必要ない場合は、(4)へ進みます。
(3-1) Starter Pack および EXPRESSBUILDER を更新する場合は、「[ソフトウェアの入手先](#)」から対象の Starter Pack の Web サイトを参照して、アップデートを行います。
- (4) 「[OS と説明書の対応表](#)」より、対応する Starter Pack ページおよびインストールガイドを参照して、Windows Server のインストールを開始します。

3. RHEL インストール手順

RHEL の新規インストールを行う場合、下記フローチャートの手順を参照してください。

注意事項:

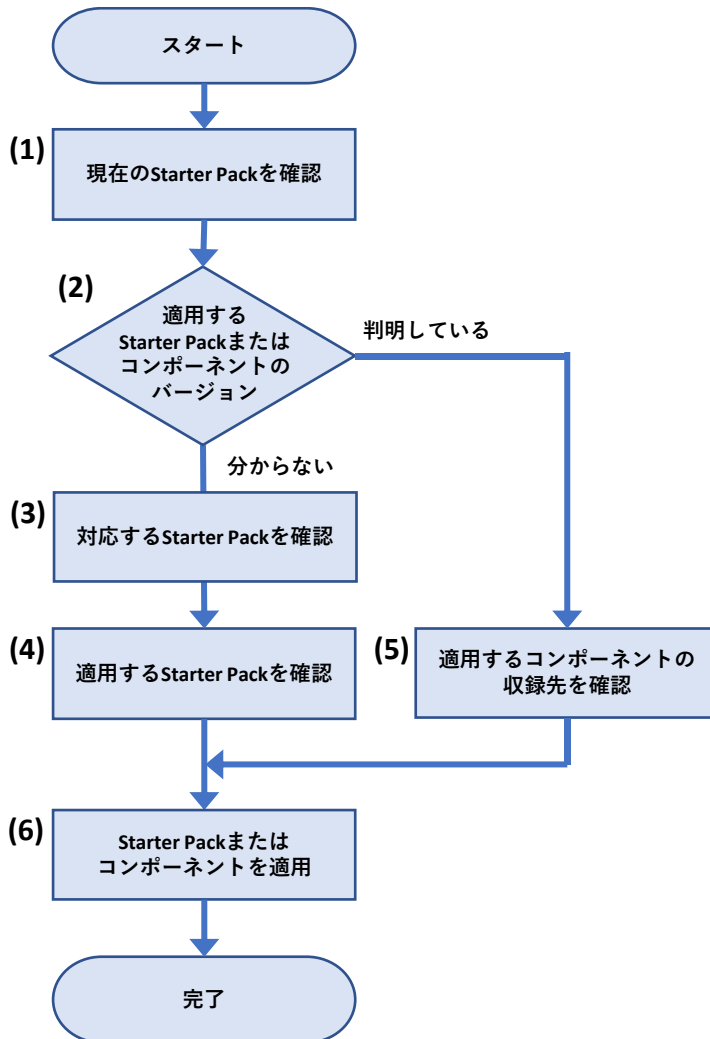
- 使用する OS に対応した最新の Starter Pack の適用を推奨します。
- サーバーの Starter Pack やファームウェアのバージョンがインストールする RHEL に対応していない場合は、事前に Starter Pack の更新が必要です。



- (1) 「[Starter Pack のバージョン確認方法](#)」を参照し、サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認します。
- (2) 「[OS と Starter Pack の対応表](#)」を参照し、インストールする RHEL に対応する Starter Pack のバージョンを確認します。
「[サーバーと Starter Pack の対応表](#)」を参照し、サーバーがサポートする Starter Pack のバージョンを確認します。
- (3) (1)および(2)の結果から、サーバーに適用されている Starter Pack がインストールする RHEL に対応することを確認します。
「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、注意事項を確認します。
Starter Pack の更新が必要ない場合は、(4)へ進みます。
- (3-1) Starter Pack および EXPRESSBUILDER を更新する場合は、「[ソフトウェアの入手先](#)」から対象の Starter Pack の Web サイトを参照して、アップデートを行います。
- (4) 「[OS と説明書の対応表](#)」より対象のインストールガイドを参照して、RHEL のインストールを開始します。

4. Starter Pack 更新手順

Starter Pack やファームウェアをアップデートするための手順です。



- (1) 「[Starter Pack のバージョン確認方法](#)」を参照し、現在のサーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認します。
- (2) 適用する Starter Pack またはコンポーネントのバージョンが判明している場合は(5)へ進みます。
適用する Starter Pack またはコンポーネントのバージョンが分からない場合は(3)へ進みます。
- (3) 「[OS と Starter Pack の対応表](#)」の内容を参照し、稼働している OS に対応する Starter Pack のバージョンを確認します。
「[サーバーと Starter Pack の対応表](#)」を参照し、サーバーが対応する Starter Pack のバージョンを確認します。
- (4) (2) および (3) の結果から、適用する Starter Pack のバージョンを確認して、(6)に進みます。
※ 「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、注意事項を確認します。
※ 対応する Starter Pack のバージョンが複数ある場合は、最新バージョンの適用を推奨します。
※ 修正内容の詳細については、Starter Pack の Web サイトを確認してください。
- (5) 個別にコンポーネントを適用する場合は、「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、対象のコンポーネントが収録される Starter Pack のバージョンまたは個別リリースされていることを確認します。
※ 「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、注意事項を確認します。
- (6) Starter Pack またはコンポーネントを更新します。「[ソフトウェアの入手先](#)」を参照して、適用する Starter Pack またはコンポーネントの Web サイトを開きます。
Web サイトの記載内容を参照して、Starter Pack またはコンポーネントを適用します。

5. OS と説明書の対応表

対象 OS		説明書			
		本書	インストールガイド (Windows Server 2019 編)	インストールガイド (Windows Server 2022 編)	インストールガイド (Linux 編 RHEL8.8 版)
Windows Server	2019	✓	✓		✓
	2022	✓		✓	✓
Red Hat Enterprise Linux	8.8	✓			✓
VMware ESXi ※1	8.0 update 2	✓			✓

※1 OS インストールに際し、別途にドライバの適用が必要になる場合があります。
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866> を参照ください。

説明書は下記より入手してください。

- インストールガイド(Linux 編 RHEL8.8 版)
 ダウンロード先: <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す: ハードウェア」 → 「型番・モデル名から探す」
 → 対象の製品・モデル名を検索
 → 「製品マニュアル」 → 「ユーザーズガイド」)
- インストールガイド(Windows Server 20xx 編)
- Starter Pack のファームウェアアップデート手順
 ダウンロード先、参照先: <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す: ハードウェア」 → 「型番・モデル名から探す」
 → 対象の製品・モデル名を検索
 → 「修正情報・ダウンロード」 → 使用するバージョンの Starter Pack)

6. サーバーと Starter Pack の対応表

本書の適用範囲のサーバーは、製品型番によって使用可能な Starter Pack のバージョンが異なる場合があります。

下記の表を参照して、対応した Starter Pack を適用してください。

サーバー		Starter Pack バージョン
		S8.10-012.01 (2024/4/26 公開)
R110m-1	N8100-3004Y/-3005Y	✓

7. OS と Starter Pack の対応表

サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンによって、サポート可能な OS が変わります。

対象 OS を新規インストールする場合は、下記の表を参照し対象 OS インストール前に対応した Starter Pack を適用してください。

対象 OS にアップグレードする場合は、下記の表を参照し対象 OS にアップグレードした後に、速やかに対応した Starter Pack を適用してください。

注意事項:

- Red Hat Enterprise Linux を新規インストールする場合は、最初に RHEL8.8 をインストールしてから目的のバージョンへアップデートしてください。
- VMware ESXi をアップグレードする場合、VMware ESXi および Starter Pack のバージョンアップの過程で、一時的に非互換の状態をご利用いただく事は可能です。非互換の状態のまま運用、仮想マシンを起動することはサポートしません。非互換の状態で問題があった際は、適切な組み合わせとなるよう VMware ESXi または Starter Pack をアップデートしてください。

対応 OS	Starter Pack バージョン	
	S8.10-012.01 (2024/4/26 公開)	
Windows Server	2019	✓
	2022	✓
Red Hat Enterprise Linux	8.8	✓
VMware ESXi	8.0 update 2	✓
※1		

公開日は、各 Starter Pack バージョンの最新版を Web サイト上に公開した日付です。

※1 OS インストールに際し、別途にドライバの適用が必要になるケースがあります。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866> を参照ください。

補足事項

- サーバー(N 型番)および Starter Pack 製品(UL 型番)は、ご注文時の最新バージョンの Starter Pack、EXPRESSBUILDER が適用、収録され出荷されます。今後の Starter Pack 更新に伴い古いバージョンの Starter Pack を適用する場合は、NEC Web サイトよりダウンロードしてください。サーバーの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます。
ダウンロード先: <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」を選択)
- 今後、Starter Pack の更新に伴い、本資料を更新します。Starter Pack は安定稼動のため、本書および関連資料に記載する手順に従い、使用する OS に対応した最新の Starter Pack を適用してください。

8. Starter Pack のバージョン確認方法

サーバーに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法

EXPRESSBUILDER および iLO6 ファームウェアのファームウェアバージョンにより、サーバー出荷時に適用された Starter Pack のバージョンを確認できます。

EXPRESSBUILDER ファームウェアバージョン	iLO6 ファームウェア バージョン	対応する Starter Pack のバージョン
4.32.7(E8.10-012.01)	1.56	S8.10-012.01

補足事項

- SystemROM、iLO6 ファームウェアを個別にアップデートした場合や、OS インストールのために Starter Pack をダウングレード適用した場合は、EXPRESSBUILDER、SystemROM、iLO6 ファームウェア、iLO6 日本語パック、Server Platform Services (SPS) ファームウェアのバージョンが、それら以外のコンポーネントに対応する Starter Pack と異なるバージョンになる場合があります。その場合は、上記以外のコンポーネントのバージョンにて Starter Pack のバージョンを判断します。

EXPRESSBUILDER の確認方法

EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョンを確認する方法は下記 2 通りあります。どちらか一方を実施します。

- サーバーのローカルコンソールで確認する方法**
 - サーバーの電源が ON の場合は、シャットダウンして電源を OFF にします。
 - サーバーにディスプレイとキーボードを接続します。
 - サーバーの電源を ON にします。POST 画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押します。
 - システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information → Firmware Information」を選択します。
 - システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「EXPRESSBUILDER」→ EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
 - <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。
注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイドの「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照します。
- iLO Web インターフェイスを利用して、リモートから確認する方法**
 - iLO6 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備します。
 - PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェイスに接続し、ログインします。
 - 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
 - iLO Web インターフェイス画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「EXPRESSBUILDER」→ EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
 - Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェイス画面を閉じます。
注) iLO Web インターフェイスの操作方法は、iLO6 ユーザーズガイドを参照します。

iLO6 ファームウェアバージョンの確認方法

iLO6 ファームウェアのバージョンを確認する方法は下記 3 通りあります。どれか一方を実施します。

- サーバーの System Health Summary 画面で確認する方法**
 - サーバーにディスプレイとキーボードを接続します。
 - サーバーの AC 電源を ON にします。
 - [Server Health Summary]画面を表示するため、サーバー前面の UID ボタンを押し、UID をオンにします。
注意事項: 5 秒以上押し続けると iLO の再起動が開始されるため、長押し操作は行わないようにお願いします。
 - サーバーが接続されたディスプレイ上に[Server Health Summary]画面が表示されます。
画面上に表示される『iLO Firmware』の項から、iLO ファームウェアのバージョンを確認してください。

5. [Server Health Summary]画面を閉じるため、サーバー前面の UID ボタンを押し、UID をオフにします
注意事項: 5 秒以上押し続けると iLO の再起動が開始されるため、長押し操作は行わないようにお願いします。

- **サーバーのローカルコンソールで確認する方法**

1. サーバーの電源が ON の場合は、シャットダウンして電源を OFF にします。
2. サーバーにディスプレイとキーボードを接続します。
3. サーバーの電源を ON にします。POST 画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押します。
4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information → Firmware Information」を選択します。
5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「iLO Firmware」→ iLO6 ファームウェアのファームウェアバージョン
6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。
注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイドの「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照します。

- **iLO Web インターフェイスを利用して、リモートから確認する方法**

1. iLO6 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備します。
2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェイスに接続し、ログインします。
3. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
4. iLO Web インターフェイス画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「iLO6」→ iLO6 のファームウェアバージョン
5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェイス画面を閉じます。
注) iLO Web インターフェイスの操作方法は、iLO6 ユーザーズガイドを参照します。

9. Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧

Starter Pack は下記の各コンポーネントを収録または個別公開しています。

サーバーの安定動作のため、Starter Pack に対応する各コンポーネントの最新バージョンを適用することを推奨します。

Starter Pack をアップデートする場合や各コンポーネントを個別アップデートする場合は、「[ソフトウェアの入手先](#)」にある URL の記載内容をご確認ください。

下表の Starter Pack に含まれるコンポーネントの組合せと異なる内容にアップデートする場合は「[Express5800 シリーズ ファームウェアと関連モジュールの version 管理について\(2023 年 6 月以降出荷開始製品\)](#)」の記載内容に従って、依存関係のあるコンポーネントをアップデートする必要があります。

注意事項

- OS インストールに伴い Starter Pack を用いてファームウェアをダウングレードする場合は、ダウングレードを実施しないファームウェアが存在します。そのため、ダウングレード後の Starter Pack に収録されているバージョンと一致しない場合があります。その場合はファームウェアダウングレード手順書の記載を優先してください。
- 以下の表は Starter Pack に収録されるコンポーネントの一部です。記載されていないコンポーネントのバージョンは「[Express5800 シリーズ ファームウェアと関連モジュールの version 管理について\(2023 年 6 月以降出荷開始製品\)](#)」または Starter Pack に収録される「Standard Program Package version x.x.x.x Contents」を参照してください。

対応するコンポーネント	Starter Pack バージョン
	S8.10-012.01 (2024/4/26 公開)
◎System ROM ※1※2	◎1.44
◎iLO6 FW ※1	1.56 ◎(1.57) ※5
◎iLO6 日本語パック ※1	◎1.56
◎Server Platform Services (SPS) FW ※1	◎6.2.4.16
EXPRESSBUILDER ※1	E8.10-012.01 FW Ver:4.32.7
◎RAID 通報サービス (Windows 用)	◎3.00 Rev4010
◎RAID 通報サービス (RHEL 用)	◎3.00 Rev4010
◎Agentless Management Service (Windows 用)	◎3.40.0.0
◎Agentless Management Service (RHEL 用)	◎3.4.0
Agentless Management Service (VMware 用)	701.11.5.0
◎iLO Channel Interface Driver (Windows 用)	◎4.7.1.0
iLO Channel Interface Driver(RHEL 用)	サポートする Linux Kernel に組込
iLO Channel Interface Driver (VMware 用)	700.10.8.1
◎Smart Storage Administrator (SSA) (Windows、 RHEL 用)	◎6.25.9.0
Smart Storage Administrator (SSA) (VMware 用)	◇6.25.9.0
ESMPRO/ServerManager (監視サーバー用) ※3	7.22 ※4
◎ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用)	2.51 ◎(2.5) ※6
◎ESMPRO/ServerAgentService (RHEL 用)	2.3.3-0 ◎(2.3.2-0) ※6
◎Intel(R) Virtual RAID on CPU ユーティリティ (GUI)	◎8.5.0.1593
◎Intel(R) Virtual RAID on CPU ユーティリティ (CLI)	◎8.5.0.1592
◎LSI Storage Authority(Windows 用)	◎008.004.016.000
◎LSI Storage Authority(RHEL 用)	◎008.004.016.000-00
◎StorCLI(Windows 用)	◎007.2417.0000.0000
◎StorCLI(RHEL 用)	◎007.2417.0000.0000-1
StorCLI(VMware 用)	◇007.2417.0000.0000-01

◎二重丸 : Starter Pack に同梱されるコンポーネント。

◇ひし形 : VMware ESXi インストールメディア(NEC Custom Image)に同梱されるコンポーネント。

無印 : 個別にダウンロードするコンポーネント。「ソフトウェアの入手先」または <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す」) から検索します。
(かつこで囲まれたバージョン) : 旧バージョン。かつこの付いていない最新バージョンを適用することを推奨します。

- ※1 これらのコンポーネントは対象の Starter Pack に対応するバージョン以降を使用する場合があります。
- ※2 SystemROM を適用する場合は、iLO6 FW が推奨バージョンであることを確認してください。推奨バージョンでない場合は事前に iLO6 FW の適用をお願いします。
- ※3 対象の Starter Pack に対応するバージョン以降の ESMPRO/ServerManager を使用してください。
- ※4 ESMPRO/ServerManager(監視サーバー用) 7.22 を使用する場合は、<https://jpn.nec.com/esmsm/index.html> の「パッチ/修正モジュール」にあるパッチファイルの適用をお願いします。
- ※5 Starter Pack S8.10-012.01 に収録されている iLO6 FW 1.57 は使用しないでください。
もしも iLO6 FW 1.57 に更新した場合は、すみやかに iLO6 FW 1.56 に更新してください。
- ※6 Starter Pack S8.10-012.01 に収録されている ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用) 2.5 および ESMPRO/ServerAgentService (RHEL 用) 2.3.2-0 は使用しないでください。
ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用) 2.51 および ESMPRO/ServerAgentService (RHEL 用) 2.3.3-0 は「ソフトウェアの入手先」からダウンロードしてください。

補足事項

- Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧は、本ドキュメントの発行日時点の最新情報です。サーバーの安定動作および新機能の追加のため、新バージョンが予告なく公開、追加される場合があります。
- System ROM、iLO6 FW、iLO6 日本語パック、Server Platform Services (SPS) FW、HDD/SSD 製品のファームウェアはダウングレード対象のコンポーネントではありません。ダウングレードした場合、これらの FW のバージョンはダウングレード適用した Starter Pack よりも新しくなりますが問題ありません。
- ESMPRO/ServerAgentService は iLO6 FW をサポートしているバージョンをインストールしてください。

10. ソフトウェアの入手先

ソフトウェア名	バージョン	入手先
Starter Pack ※1	S8.10-012.01	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111187
EXPRESSBUILDER ※1	E8.10-012.01	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111188
System ROM	1.44	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱)
iLO6 FW	1.56	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111198
iLO6 日本語パック	1.56	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱)
Server Platform Services (SPS) FW	6.2.4.16	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱) https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111193
RAID 通報サービス (Windows 用)	3.00 Rev4010	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱)
RAID 通報サービス (RHEL 用)	3.00 Rev4010	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱)
Agentless Management Service (Windows 用)	3.40.0.0	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱)
Agentless Management Service (RHEL 用)	3.4.0	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱)
Agentless Management Service (VMware 用)	701.11.5.0	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111196
iLO Channel Interface Driver (Windows 用)	4.7.1.0	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱)
iLO Channel Interface Driver (VMware 用)	700.10.8.1	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111196
Smart Storage Administrator (SSA) (Windows, RHEL 用)	6.25.9.0	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱)
Smart Storage Administrator (SSA) (VMware 用)	6.25.9.0	(ESXi8.0u2NEC カスタムイメージに同梱) https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3010101744
ESMPRO/ServerManager (監視サーバー用)	7.xx 最新バージョン	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110069
ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用)	2.51	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111159
ESMPRO/ServerAgentService (RHEL 用)	2.3.3-0	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111159
Intel(R) Virtual RAID on CPU ユーティリティ (GUI)	8.5.0.1593	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱) https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110903
Intel(R) Virtual RAID on CPU ユーティリティ (CLI)	8.5.0.1592	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱) https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110903
LSI Storage Authority(Windows 用) ※2	008.004.016.000	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱)
LSI Storage Authority(RHEL 用) ※2	008.004.016.000-00	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱)
StorCLI(Windows 用) ※2	007.2417.0000.0000	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱)
StorCLI(RHEL 用) ※2	007.2417.0000.0000-1	(Starter Pack S8.10-012.01 同梱)
StorCLI(VMware 用)	007.2417.0000.0000-01	(ESXi8.0u2NEC カスタムイメージに同梱) https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3010101744
VMware ESXi デバイスドライバー情報一覧	右記 Web を参照	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866

※1 サーバーおよび Starter Pack 製品(UL9020-B175) には、ご注文時の最新バージョンの Starter Pack、EXPRESSBUILDER が適用・収録されています。最新バージョンの Starter Pack は NEC Web サイトからダウンロードでも入手できます。

今後の Starter Pack 更新に伴い、古いバージョンの Starter Pack を適用する場合は、NEC Web サイトよりダウンロードしてください。

サーバーの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます。

※2 LSI Storage Authority および StorCLI を個別インストールする手順は、MegaRAID ユーティリティユーザズガイドを参照してください。

変更履歴

版数	改版日	改版内容
1	2024 年 4 月 26 日	初版